

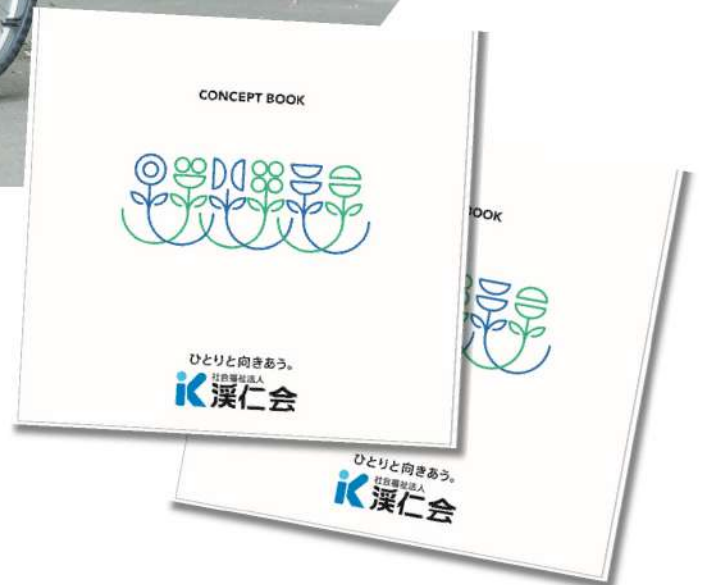
ひとりと向きあう。

EVOLUTION

～幸せな未来を目指して進化する～



法人パンフレット・
ステートメント完成！



“あたりまえ”のレベルを高く

自宅で余生を送りたい。
施設でもわが家のように安心したい。
だれにでも思いがある。
高齢者だから、認知症だからと、
ひとくりにせず、一人の「ひと」として尊重したい。
寄り添うとは、なにか。
それは“してあげる”ではない。
一緒に考える。安全を優先して先回りする。
あたりまえの日常を共にすることだ。
助けを要する当人はもちろん、
その家族のために「介護」という仕事がある。
わたしたち溪仁会は、
地元に根を張る介護のプロフェッショナル。
こなすのではなく、
あたりまえの水準を積み上げる。
介護と医療を柱とするグループ力を心強さにして。

法人タグラインとともに、皆さんの思いが
詰まった法人メッセージも完成しました！

INDEX

- ・ 2024年度認知症ケア研修会
- ・ 新入職員フォローアップ研修会
- ・ 溪仁会グループ研究発表会
- ・ 介護のしごとフェスティバル2024

「家族として、脳科学者としてみた認知症」
その人らしさは変わらない



2024年9月12日（木）、脳科学者の恩蔵絢子先生をお招きして「認知症ケア研修会」を開催し、オンライン含めて総勢100名以上が参加いたしました。

研修では、お母様が認知症を発症したときの戸惑いや葛藤、脳科学者としての分析によってお母様との向き合い方に変化があったこと、お母様が大好きな音楽に最期まで感情を持ち続け、お子様（自分）を大切な存在と表現され、「その人らしさ」がアルツハイマー型認知症と診断されても失われない、とご講義くださいました。

それは、残されている機能が多いのに、個人差が大きく扱われてこなかったため、何もわからなくなる、できなくなっていく、と機能が低下する部分だけが注目されがちだからです。

しかし、身体の記憶は残っているため、繰り返すことで慣れたり機能が向上することもあります。言葉の意味も理解でき“嬉しい”や“嫌”な「感情」が残ります。

親を探したり、家に帰りたという方が多いのは、「感情」を言葉にできない、理解してもらえないという不安から、「安心」を求めている現象と話されました。

自信を失ったり不安を抱える認知症の方にとっては「安全基地」が必要であり、「言葉で言えることだけを見ることは本質を見逃すこと」と強調されました。

参加した職員からは、もっと講義を聞きたかった！脳の仕組みをより詳しく知りたい！大変貴重な機会だった！との声があがりました。



この度は、以前よりNHKや著者で注目されていた恩蔵絢子さんで、私もお話を伺ってみたいと思っており、待望の研修でした。

脳科学という今までの切り口とは違った視点から認知症を見てみることで新しい気づきがありました。

印象的だったことが何点あります。

まずは「海馬が少し傷付いているだけ」という言葉です。それは、その他の機能が失われていることよりも、もっと多くあるという捉え方です。このよ

うな捉え方をするだけで、その方との向き合い方が変わるのではないのでしょうか。

そして、認知症になっても学習し続けられるということです。今まで感覚的に感じていたことが、きちんと科学的に実証されていることがわかりました。

最後に、やっぱりその人らしさは変わらないということです。私たちはその、変わらないその人らしさを、きちんと理解しているのかこれからの日々のケアで向き合っていきたいですね。



2024年度 新入職員フォロー アップ研修会

2024.8.30 (金)

手稲つむぎの社にて開催し、21名が参加しました。入社してから5か月間で様々な経験をした事、それぞれが抱える課題や悩み、成功体験をグループワーク形式で同期や先輩職員と共有しました。

それぞれ違う事業形態ならではの意見や、先輩職員からのアドバイスを受けて、入社時に描いた「理想とする職員像」へ向けて意欲を高められたことと思います。

体調管理に気を付けて、同期のつながりを大切に、支え合いながら、成長されることを願っております！

説得ではなく、納得してもらえるケア
をめざしていただければ！



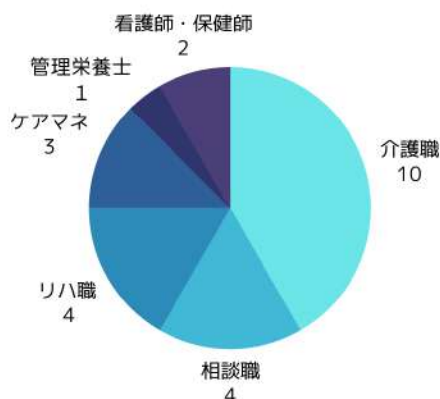
第36回 溪仁会グループ 研究発表会

フォーラムシステムにて公開中

社会福祉法人溪仁会からは24演題のエントリーがありました。日頃の取り組みの成果をまとめた貴重なご発表ですので、ぜひ皆さんで参考にして実践いただければと思います。エントリーされた皆さま、大変お疲れさまでした！

24演題のエントリー！

【発表者 職種別内訳】



視聴期間：10/31 (木) まで！

優秀演題受賞者による発表と表彰式は
10/5 (土) 9:00～
社福から4名参加しますので、ぜひご覧ください！

介護のしごとフェスティバル2024

「みやぞん」×「KAiGO PRiDE」 ～トークセッション～



HTB秋の大感謝祭
創世スクエア(2階スカーツスタジオ)

KAiGO×Creative

お笑い芸人の「みやぞん」さんは、介護施設の勤務経験があり、介護の仕事はカッコ良いし素晴らしい仕事！とパワーを下さり👏KAiGO PRiDE代表理事のマンジョット・ベディさんは日本の介護は世界一カッコ良い！のに世間のイメージとのギャップという課題をクリエイティブの力で解決！と団体を設立し厚生労働省のプログラムなどで活動中です。介護に携わるスタッフ自らの言葉で介護の魅力をポジティブに発信すること、そして介護の仕事に誇りを持つことが、将来誰もが自分らしく生きていくために必要なこと！とエールをくださいました！

参加者それぞれの想いやトークセッションでの介護の魅力を語る姿は本当にカッコよかった！
3名が出演するCMが11月放送予定です！
どうぞお楽しみに！



編集後記

KAiGO PRiDEさんの取組みは今後もぜひSNSでチェックしてみてくださいね。先日のアンバサダー研修の様子も9/13付けの介護新聞さんに掲載されています！私も映っています（笑）今後も介護の魅力が伝わる広報をめざします！皆さまからのご意見ご要望もお待ちしています！
広報担当：中谷

社会福祉法人 湊仁会 株式会社
EVOLUTION

社内報バックナンバーはコチラ➡



公式SNSもご覧ください！
アカウント名：社会福祉法人湊仁会

発行：社会福祉法人湊仁会
発行責任者：法人本部長 辻村 真

〒064-0823
札幌市中央区北3条西28丁目2-1
TEL (011) 640-6767